

怒涛

題字 藤 祿 郎 氏
近

柏中柏高同窓会新聞
発行代表者
土田新吾
印刷所
(株)柏崎インサツ

百十周年記念式典等の報告
(平成二十二年十一月六日(土)柏高体育館にて)

創立百十周年記念式典

盛大に挙行される

募金は三月末まで...現在 千百万達成



厳粛な中で整然と挙行された式典

◆記念式典 (柏崎高校大体育館)
記念式典には在校生六百十人のほか来賓、歴代校長と職員、旧職員、保護者、同窓会会員等約二百名が参列して、九時四十五分から厳粛かつ盛大な式典が挙行されました。
記念事業実行委員会の土田新吾委員長(同窓会長・高16)は、百周年後の十年の歩みに触れながら、二重にも及ぶ震災から立ち直り伝統ある校風を受け継ぐ努力に対して讃辞を送り、これからの母校の新たな飛躍を期待したいと述べました。また、浅野隆校長は、文武両道の心を引き継ぎ、オンリーワンとナンバーワンを目指しながら、骨太の人材育成という特色ある学校づくりを進める決意を述べました。そして阿部尚義(高35)県教育委員は、先輩の残した伝統を継続しながら校歌の精神を忘れず、世界に羽ばたく人間になるよう、目を広く向けてほしいと応援の祝辞を述べました。会田洋柏崎市長(高17)からは、自由な校風の中で精一杯努力し



竹内大恵親友会長の誓いのことば



会田洋柏崎市長の祝辞



浅野隆校長の式辞



土田新吾実行委員長の挨拶

ている皆さんに讃辞を送りながら、世界で活躍している先輩たちが、柏崎市民の誇りであり見習って欲しいと熱いお祝いの言葉を頂きました。さらに、竹内大恵親友会長が何のために学ぶのか考えながら、百十年の歴史の上に立つて、社会的な責任を自覚し、自らを成長させていきたい。そして更に新たな伝統を作っていくと、力強く決意を述べました。最後に参加者全員で七番までの校歌を高らかに斉唱し、「世は我が立つて待てるなり」のフレーズを心に響かせて厳粛にも感動的な式典の幕を閉じました。

◆記念講演会

講師・宮脇昭先生(横浜国立大学名誉教授)

記念式典に続いて十時四十五分から約九十分にわたって記念講演が行われました。講師は、世界に四千万本の木を植えた男といわれる、横浜国立大学名誉教授で国際生態学センター所長の宮脇昭先生です。八十二歳の現任も世界を飛び回って植樹指導をされ、多忙を極めておられる先生からの講演をお聞きすること

が出来たのは大変な幸せでした。「明日のために、生物社会の掟に沿って、柏崎高校から世界へ」と題して、今を生きよう、この上ない尊い命を大切に生きよう、と繰り返し呼びかけられました。森づくりが地球環境にとつていかに大切か、そのためには土地の木を混植密植させて共生と競争の原理を適用すること

による講師先生を囲む会も終始和やかに、教唆に富んだお話しも聞きし有意義な一時を過ごさせていただきました。



『今を生きよう命を大切に』と熱く語る宮脇昭先生の講演



講師を紹介する相澤陽二副実行委員長



花束を受ける講師先生



前日の講師を囲む会の頑張ろうのかけ声

百十周年事業終了を控えて

同窓会長 土田新吾

百十周年記念事業は三月末日をもって終了致します。記念誌の刊行と募金の終了をもって全事業が完了致します。記念誌の刊行と募金の終了を指しておりますので締切まであと二週間、各位の協力よろしくお願い致します。さて昨年十一月六日に三つの事業が挙行されま

した。ここでは概略に留め、詳細は次号怒涛にてお伝え致します。式典は県市・旧職員、PTA、同窓会会員等多数の方々にご臨席賜わり、簡素な中に凛とした雰囲気、さすがに柏崎の中心校としての評価を頂きました。又世界的な植物生態学者として名高い宮脇昭横浜国立大学名誉教授の講演は豊富な事例を紹介しながら実践的で力強い地球の再生方法を展開し、生徒諸君のみならず出席者全員に深い感動を与えました。教授は生徒諸君の態度にも言及し、極めて高いレベルの聴く姿勢を賞賛され将来の活躍を期待して下さいました。うれしい限りです。懇親会は産業文化会館に会場を移し、約三百名の方々に出席頂きました。母校に対する各位の期待がひしひしと感じられ、和気藹々のうちに閉幕致しました。

柏中・柏高同窓会会長

土田新吾 (高16)

TEL 0257-241112
電話 (0257) 241722

学校法人中延学園理事長
(朋優学院高等学校)

佐藤早苗 (高5)

TEL 140-8608
電話 (03) 3784-2231

鉄は面白い!

西川正純 (高14)

柏陽鋼機株式会社
株式会社レーザック柏陽

平野内科医院

平野徹 (高16)

TEL 945-0821
TEL (21) 0655

東京税理士会元会長

税理士 関本和幸 (中45)

TEL 160-0023
東京都新宿区西新宿七丁目十八番十八号
電話 (03) 3337-7211
FAX (03) 3365-3747

本間内科医院

本間保 (高21)

TEL 945-0821
TEL (21) 3666

柏崎司法書士会々員

村山照家 (中42)

TEL 0257-224272

中村八郎 (高10)

TEL 0257-244501

伊藤誉士勝 (高14)

TEL 0257-221063

今井元紀 (高15)

TEL 0257-245520

田辺信一 (高17)

TEL 0257-237949

宮田知津子 (高25)

TEL 0257-245522

江口淳 (高30)

TEL 0257-200428

◆記念祝賀会 (柏崎市産業文化会館)

産業文化会館に会場を移して、午後一時から三階の大ホールに二百五十人の参加のもと、盛大に記念祝賀会が開かれました。祝賀会担当の青木健副実行委員長 (PTA会長) が爽やかに祝宴の会進行しました。土田実行委員長の挨拶に続いて同窓会東京支部の近藤健彦支部長 (高12) が、怒涛の二十世紀を乗り越えた母校の更なる発展を、お祝いの言葉をいただきました。勝海昭前同窓会長 (高8) が、百周年から十年、二度の地震にもめげず復興を遂げた母校へのエールを込めて全員元氣よく乾杯しました。懇親会では、講師の宮脇昭先生を始め大勢の来賓の方々や新旧教職員、同窓会の先輩・後輩・現保護者の方々等あちらこちらで百周年を祝う賑やかな話題に花が咲きました。

最後は高十五回から十八回の若手(?)の年次会員がステージに上がって音頭をとり、「米峰突兀雲を貫きみ空に亘がく玉芙蓉」と意気軒昂に校歌を大合唱しました。



乾杯発声勝海昭前会長



祝辞近藤健彦東京支部長



来賓の方々



祝賀会会場



15〜18回生 校歌斉唱

平成22年度総会の報告

蓮池薫氏 (高28回) の講演会 盛況

平成二十二年度の柏中・柏高同窓会総会が、例年八月の第一土曜日となっていました。事務局の勝手次第で、七月三十一日(土)柏崎市産業文化会館で開催されました。今年度は記念文化講演会と名称を変えて、多くの市民の方に聞いていただきたいという思いで実施しました。

平成二十二年度の柏中・柏高同窓会総会が、例年八月の第一土曜日となっていました。事務局の勝手次第で、七月三十一日(土)柏崎市産業文化会館で開催されました。今年度は記念文化講演会と名称を変えて、多くの市民の方に聞いていただきたいという思いで実施しました。

施されました。講師には、新潟産業大学専任講師の蓮池薫氏 (高28) をお願いをしました。帰国した拉致被害者の一人として、「ふるさと柏崎に想うこと」と題して、二十四年間の拉致生活の様子や思いを実に生々しく語って下さり、約二百五十人の聴衆が熱心に聞き入りました。

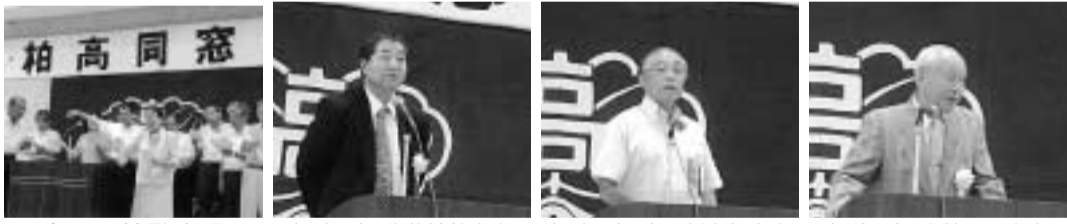
総会では土田新吾会長 (高16) が、十一月六日に行われる柏崎高校創立百周年の記念事業の成功に向けて、同窓会の総力を挙げて取り組もうと呼びかけました。総会後の懇親会では、講師の蓮池さんを始め各支部役員、招待恩師の小林洋一 (中45) 先生・宮田新太郎先生・後藤敏数先生をお招きし、二百三十余人出席の大盛況の懇親会となりました。



広川俊男氏

蓮池薫氏

懇親会会場



高17回校歌斉唱

招待恩師 後藤敏数先生

招待恩師 宮田新太郎先生

招待恩師 小林洋一先生

創立百十周年記念講演要旨

今なぜ木を植えないければならないか。私たちは現在の自分の存在や生活を当たり前のことと思っ

「明日のために、生物社会の掟にそって」

柏崎高校から世界へ

横浜国立大学名誉教授(博士) 宮脇昭氏

命のすばらしさを知るの

水素も、衣服も、炭酸ガスも、いわば、植物の寄与者である。それを自覚する必要がある。そして、生きていくという幸福に基づいてすべての活動をしているのである。掟に沿って植えるのは勿

心にも木を植えることで生

生きていくことが幸福であり、生命の尊さをいかに実感するかが大切である。木を植えることは、日を植えることであり、心を木を植えることで生

日本では、毎年三万人以上が自殺しているが、今

半研究所に滞在したとき、本

目で見ると、実際に

手で触って、なまの命のすばらしさを知る」ことが大切であることを学んだ。

人間はすべてを植物に依存している。酸素も、

日本で人口密度が最も高い、東京都の豊島区で、小学生・中学生、その保護者と共に一万本の木を植えた。木を植えることは、命とは何かが分

論である。ドイツ語に「森の下にもう一つ森がある」という言葉がある。下の森が上の森を支えているのである。本物の森は台風などで破壊されて

くれる。「切つたらたたりがある」といわれた長年守られてきたのである。あの酒田大火でもわずかに二本のタブの木が火災から人の命を守ったと

林帯によって人間は生きていける。エコロジカルな目を持ち本物と偽者を見分ける力をつけていく必要がある。植えた木が都市を守る。成長した大きな木を植える必要はない。

必ず苗から植え、自然の掟に従って混植・密植すること。九年で立派な森になる。

今問題になっている「いじめ」には必ず予兆がある。現場に立って観察すればその予兆を見抜くことができる。自然の予兆も現場に立って見抜くことができる。現場、現場、現場、とにかく現場に立つことが大切なのである。里山の雑木林は誰が下草を刈るのか。自分で作業することである。そして、偽者でなく本物を植えること。本物を植えれば管理は必要ない。自然の管理に任せればよいのである。

命を大切にすること。生命の尊さを十分に理解すること。何があっても生きる、そしてあなたしかできないことを人類のために柏崎高校から世界に発信すること。あなたしかもっていない遺伝子を残し、命と心と遺伝子を守ることである。今生きること自体が幸福であることをつかりと認識して、百年の柏崎高校の歴史を踏まえて、未来の人類と生物社会のために頑張ってほしい。(文責・山田富栄(高13))

<p>高桑内科医院</p> <p>高桑正道 (高18)</p> <p>柏崎市比角一丁目二丁目三 TEL (21) 二五五五</p>	<p>会田内科医院</p> <p>会田 恵 (中41)</p> <p>東本町2 (旧保健所前)</p>	<p>高島内科胃腸科</p> <p>理事長 高島憲一郎 (高13)</p> <p>柏崎市扇町二丁目十三 電話 (二四) 〇〇〇一</p>	<p>馬場会計事務所</p> <p>税理士 馬場 正人 (高19)</p> <p>〒945-0046 柏崎市四谷二丁目三十一 TEL 二二一六二一七</p>	<p>矯正歯科・小児歯科</p> <p>きたざわ 歯科</p> <p>かみあわせ研究所</p> <p>北澤 智昭 (高23)</p> <p>柏崎市幸町一丁目七 TEL (22) 六二二二</p>	<p>新潟医・歯学同窓会</p> <p>会長 阿部春樹 (高17)</p> <p>幹事 植木智志 (高45)</p>	<p>うまいものダイニング 大志麻</p> <p>柏崎市日吉町三二二七</p> <p>代表取締役 大島 崇 (高23)</p> <p>柏崎市岩上九一七</p>	<p>株会 田写真館</p> <p>スタッフ一同</p> <p>柏崎市扇町一丁目一八 TEL 二二二二二二二二</p>	<p>株式会社 植木組</p> <p>取締役会長 植木康之 (高15)</p> <p>取締役社長 植木義明 (高23)</p> <p>新潟県柏崎市新橋二番八号</p>	<p>割烹 みずさち</p> <p>水地 学 (高41)</p> <p>柏崎市柳橋町二丁目一四 TEL (〇二五七) 二二四二五五 FAX (〇二五七) 二二一九二二</p>
--	--	---	---	---	---	--	--	--	--

「異色の同期会」開催される

松崎日出男(高13)

「下関でリレーを走った方と会いたい!!」との発言をキッカケに学年を越えた同期会が開催された。

昭和34年から38年にかけてグラウンドを走り回った陸上競技部OB・OGの同期会が5月26日、27日に湯沢温泉で開催された。

小山幹事長の開会あいさつのもと、物故者への黙祷、金井元部長の乾杯の発声で宴会は幕を開けた。約50年ぶりの再会ということでつもる話も多く、最初のぎこちなさもたちまち学生時代にタイムスリップし、あちこちで思い出話に華が咲いた。

「縄文の人々」

今から約十数年前、柏崎平野、別山川流域の刈羽平野には海水が侵入していました。よく発達した海岸段丘の上輪、青海川海岸は知られているところですが、内陸の剣野、安田、別山川流域にも海岸段丘があります。海水面の上下によってできるこの地形によって、そこが海水にあらわれていたことがわかります。その後、内陸に残された海が濁り沼になっていきました。この古砂丘はおよそ五万年前には、ほ

昭和34年の下関遠征では「板の持参」が命じられた。入賞可能なエース級は特急列車で先に出発し、そうでない者は鈍行の夜行列車で、持参した板を座席シートに渡して寝たこと、列車の待ち時間にはホームに出て屈伸体操をしたこと、帰路には秋市や安芸の宮島を案内してもらったこと等のエピソードが語られた。校歌と部歌を全員で合唱して宴をしめくくった。二次会は部屋での開催となり、夜のふけるのも忘れて語りあった。

一泊二日の楽しいひとときもまたたく間に過ぎ、3年後を目途に再会

ぼ出来上がりました。この段丘の縁にそって古代の道や住居が出来ていきます。縄文中期の日本の中心は長野、新潟である、という説がありま

す。長野県の勝坂土器と新潟県の火燧型土器が他のそれを示しているからです。いずれも信濃川流域です。長岡の馬高遺跡と十日町の笹山遺跡出土のものがありますが、柏崎の大平梨ノ木、川内、軽井川十三仏塚の遺跡からも火燧型土器は出土しています。縄文時代の土器といえば、文様はすべて縄目で、形は火燧型と思われがちですが、これらは中期の一時期的なもの

です。後期の土器は、新潟県から福島県津地方を中心とみられる地域色のつよいものです。縄文土器は煮炊きの他、食物を盛る、蓄えるなどの機能がありましたが、使用した注口土器には赤いベンガラで着色した漆が



参加者 黒崎道子、江

口栄子、高野弘子、金子律子、浅田満子、金井満内山哲夫、渡邊武、小山勝弘、若山忠勝、相澤和夫、滝澤実、松崎日出男(女性は旧姓) 文責 松崎

三月末刊行予定

募金一口以上の方 全員に贈呈

発足から一年半、ようやく表紙やグラビアを含むすべての原稿が出そろい、編集作業は詰め段階まで来ました。

また、印刷・製本などに若干の日数がかかりますが、当初の予定どおり、三月末には刊行の日を迎えることができそうです。

この機会に、ご多忙中、玉稿をお寄せくださった同窓諸兄弟のご高配にお礼を申しあげ、現況報告とさせていただきます。

(記念誌委員会代表 根立俊樹)

柏崎郷土物語(3)

岩下 正雄(高16)

で、銘名の皿や鉢はなかつたようです。私達は縄文時代の人々を、毛皮を着て山野を歩き、獣をとって生活していた未開の人々と思いがちですが、そんなことはありません。土器はいうにおよ

塗ってありました。三千年前のものです。日本における最も古い漆製品の出土例は約九千年前、これは突出して古いですが、六千年くらい前のものは、全国各地で出土しています。このころには

すでに国土の四割にしかすぎません。気候の温暖化が進んだ縄文時代前期から中期にかけて、西日本一帯ではカシ、シイを主体とする照葉樹林帯が広がり、東日本にはブナ、ナラなどの落葉樹林

の手入れ、製作をします。秋は大事な時期です。縄文時代を通じて主食であったクリ・ドングリは熟果期が短いので、共同で採集、アクスキの作業をしたことでしょう。サケ・マスも獲りました。冬はシカ・イノシ



シの猟の他は目立った活動はなく、春・秋の収穫物を消費していたでしょう。関東以北の人々の生活を支えてきたブナ林は、当地方には小国町の一部と黒姫山、高柳、松代、大沢、米山麓に見ることが出来ます。

事務局よりお願い

- 会員の「住所変更・訂正」「物故」の連絡は、①郵便 ②ファックス ③E・メール ④電話 ⑤FAX ⑥Eメール ⑦電話
- 正確を期するため、④電話での連絡はできるだけ避けてください。
- 特に、「物故」の連絡は、必ず①②③ ④⑤⑥⑦ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

連絡先

① 郵便宛先	〒945-0065 柏崎市学校町4-1 県立柏崎高等学校 柏中・柏高同窓会 事務局
② ファックス	0257(35)7838
③ E・メール	dotoh@kzh.biglobe.ne.jp
④ 電話	0257(35)7839

■会費の納入にご協力ください。「怒涛」の発行・発送をはじめ、同窓会の事業は会員の皆さまの会費によって運営されております。近年、会費納入が減少傾向にあり、このままでは同窓会の運営に支障をきたす恐れがあります。出費多端のおり、まことに恐縮でございますが、活動の円滑な運営のために、今後とも皆さまには格段のご協力をお願い申し上げます。

■納付書を同封いたします。納入は、郵便局・コンビニのどちらでもご利用になれます。今年度すでに会費納入済みの方には、再度の納付書は同封いたしません。今回の納付書送付と、行き違いで納入された場合は、ご容赦ください。

<p>代表取締役 品田 優 (高16)</p> <p>柏崎市小金町十一番六七号</p>	<p>代表取締役 高野 毅 (高30)</p> <p>事務所 長岡市幸町一丁目二番一〇号 TEL 〇二五八二五八二五 FAX 〇二五八二五八二五</p>	<p>代表取締役 佐藤裕幸 (高20)</p> <p>代表取締役 佐藤信義 (中39)</p> <p>柏崎市駅前二丁目一番四三三号</p>	<p>郷土のたより 越後タイムズ</p> <p>編集発行人 柴野 毅 実 (高22)</p> <p>TEL 〇六三九六 FAX 〇六三九五</p>	<p>代表取締役 山田 明彦 (高18)</p>	<p>代表取締役 柏崎日報社</p>	<p>新沢歯科医院 新澤 秀樹 (高22)</p> <p>柏崎市穂波町二番二二号</p>	<p>高鳥 技術士 事務所 高鳥 勉 (中4)</p> <p>CSP労働安全コンサルタント</p> <p>事務所 柏崎市橋場町一四一三〇 TEL 〇二五七二四一四二二 FAX 〇二五七二四一四二二</p>	<p>辯護士 高橋 巽 (高15)</p> <p>事務所 新潟市関新二丁目一番七三三号 新沼タイカンプラザ遊学館九〇八号 TEL 〇二五一一三三三三三 FAX 〇二五一一三三三三三</p>	<p>原酒造(株) 原 吉隆 (高28)</p> <p>柏崎市新橋五十一十二</p>	<p>新野屋 新野 京一 (高22)</p> <p>柏崎市駅前一丁目一五一十四 TEL 〇二二三三七</p>
---	--	---	---	--------------------------	--------------------	--	--	--	--	--

各部活動の足跡

〔野球部〕
 ○選手権新潟大会
 二回戦 柏崎1―4 高田農業
 〈バスケットボール部〉
 ○県総体
 一回戦 柏崎94―59 阿賀野
 二回戦 柏崎65―114 新発田南
 ○BSN杯
 一回戦 柏崎92―64 新発田
 二回戦 柏崎129―100 高志
 三回戦 柏崎102―70 新発田中央
 準々決勝 柏崎88―65 新津
 準決勝 柏崎57―72 新潟工業
 三位決定戦 柏崎76―91 新発田南

◆女子
 ○県総体
 一回戦 柏崎55―87 三条東
 ○BSN杯県新人大会
 一回戦 柏崎61―50 加茂
 二回戦 柏崎55―41 長岡
 三回戦 柏崎58―78 新発田
 ベスト16 (ハレーポール部)
 ベスト16 柏崎24―9 新潟明訓
 決勝 柏崎24―9 新潟明訓

◆女子
 ○北信越地区予選会
 二回戦 柏崎9―32 氷見 (富山)
 ○秋季県大会
 準決勝 柏崎15―4 巻
 決勝 柏崎13―8 長岡大手
 女子優勝 柏崎13―8 長岡大手
 ○北信越地区予選会
 一位リーグ 柏崎12―18 福井商業 (福井)
 柏崎30―12 高岡向陵 (富山)
 柏崎7―15 小松市立 (石川)

◆女子
 ○北信越高等学校新人陸上競技大会
 4×100mR 5位 佐藤友里恵・池嶋祥子・大坂菜美・橋本真彩子
 4×400mR 眞彩子
 ○北信越高等学校新人陸上競技大会
 4×100mR 5位 佐藤友里恵・池嶋祥子・大坂菜美・橋本真彩子
 4×400mR 眞彩子
 ○秋季地区大会
 個人戦 優勝 中島広晶・古田健人組
 ○県新人戦選抜大会
 ベスト16 眞彩子
 ○陸上競技部
 新潟県高等学校選抜陸上競技大会
 110mH 8位 松井 綾摩
 棒高跳 7位 澤田 孝樹
 八種競技 7位 茂田井友康

◆女子
 ○新潟県高等学校選抜陸上競技大会
 200m 8位 佐藤友里恵
 400m 1位 池嶋 祥子
 4位 大坂 菜美
 400mH 6位 重野 桜子
 走高跳 6位 南雲 香織
 5位 中野 沙紀
 走幅跳 1位 橋本真彩子
 4×100mR 2位 佐藤友里恵・池嶋祥子
 ○北信越地区予選会
 一位リーグ 眞彩子
 大坂菜美・池嶋祥子・品田麻衣・橋本真彩子
 ○秋季地区大会
 個人戦 優勝 中島広晶・古田健人組
 ○県新人戦選抜大会
 ベスト16 眞彩子
 ○陸上競技部
 新潟県高等学校選抜陸上競技大会
 110mH 8位 松井 綾摩
 棒高跳 7位 澤田 孝樹
 八種競技 7位 茂田井友康

◆女子
 ○北信越地区予選会
 一位リーグ 眞彩子
 大坂菜美・池嶋祥子・品田麻衣・橋本真彩子
 ○秋季地区大会
 個人戦 優勝 中島広晶・古田健人組
 ○県新人戦選抜大会
 ベスト16 眞彩子
 ○陸上競技部
 新潟県高等学校選抜陸上競技大会
 110mH 8位 松井 綾摩
 棒高跳 7位 澤田 孝樹
 八種競技 7位 茂田井友康

◆女子
 ○北信越地区予選会
 一位リーグ 眞彩子
 大坂菜美・池嶋祥子・品田麻衣・橋本真彩子
 ○秋季地区大会
 個人戦 優勝 中島広晶・古田健人組
 ○県新人戦選抜大会
 ベスト16 眞彩子
 ○陸上競技部
 新潟県高等学校選抜陸上競技大会
 110mH 8位 松井 綾摩
 棒高跳 7位 澤田 孝樹
 八種競技 7位 茂田井友康

◆女子
 ○北信越地区予選会
 一位リーグ 眞彩子
 大坂菜美・池嶋祥子・品田麻衣・橋本真彩子
 ○秋季地区大会
 個人戦 優勝 中島広晶・古田健人組
 ○県新人戦選抜大会
 ベスト16 眞彩子
 ○陸上競技部
 新潟県高等学校選抜陸上競技大会
 110mH 8位 松井 綾摩
 棒高跳 7位 澤田 孝樹
 八種競技 7位 茂田井友康

◆女子
 ○北信越地区予選会
 一位リーグ 眞彩子
 大坂菜美・池嶋祥子・品田麻衣・橋本真彩子
 ○秋季地区大会
 個人戦 優勝 中島広晶・古田健人組
 ○県新人戦選抜大会
 ベスト16 眞彩子
 ○陸上競技部
 新潟県高等学校選抜陸上競技大会
 110mH 8位 松井 綾摩
 棒高跳 7位 澤田 孝樹
 八種競技 7位 茂田井友康

◆女子
 ○北信越地区予選会
 一位リーグ 眞彩子
 大坂菜美・池嶋祥子・品田麻衣・橋本真彩子
 ○秋季地区大会
 個人戦 優勝 中島広晶・古田健人組
 ○県新人戦選抜大会
 ベスト16 眞彩子
 ○陸上競技部
 新潟県高等学校選抜陸上競技大会
 110mH 8位 松井 綾摩
 棒高跳 7位 澤田 孝樹
 八種競技 7位 茂田井友康

柏崎20―21 柏崎工業
 男子準優勝
 ○北信越地区予選会
 二回戦 柏崎9―32 氷見 (富山)
 ○秋季県大会
 準決勝 柏崎15―4 巻
 決勝 柏崎13―8 長岡大手
 女子優勝 柏崎13―8 長岡大手
 ○北信越地区予選会
 一位リーグ 柏崎12―18 福井商業 (福井)
 柏崎30―12 高岡向陵 (富山)
 柏崎7―15 小松市立 (石川)

子・大坂菜美・橋本眞彩子
 4×400mR 1位 大坂菜美・池嶋祥子・品田麻衣・橋本眞彩子
 ○北信越高等学校新人陸上競技大会
 4×100mR 5位 佐藤友里恵・池嶋祥子・大坂菜美・橋本眞彩子
 4×400mR 眞彩子
 ○秋季地区大会
 個人戦 優勝 中島広晶・古田健人組
 ○県新人戦選抜大会
 ベスト16 眞彩子
 ○陸上競技部
 新潟県高等学校選抜陸上競技大会
 110mH 8位 松井 綾摩
 棒高跳 7位 澤田 孝樹
 八種競技 7位 茂田井友康

若林 理絵
 渡邊 美咲
 伊比 香純
 若井麻衣子
 近藤 美樹
 久住玲緒奈
 ○北信越選抜大会
 シングルス 予選リーグ 若林理絵
 4×100mR 5位 佐藤友里恵・池嶋祥子・大坂菜美・橋本眞彩子
 ○秋季上越地区大会
 66kg級 関田 稜也 (県大会出場)

若林 理絵
 渡邊 美咲
 伊比 香純
 若井麻衣子
 近藤 美樹
 久住玲緒奈
 ○北信越選抜大会
 シングルス 予選リーグ 若林理絵
 4×100mR 5位 佐藤友里恵・池嶋祥子・大坂菜美・橋本眞彩子
 ○秋季上越地区大会
 66kg級 関田 稜也 (県大会出場)

若林 理絵
 渡邊 美咲
 伊比 香純
 若井麻衣子
 近藤 美樹
 久住玲緒奈
 ○北信越選抜大会
 シングルス 予選リーグ 若林理絵
 4×100mR 5位 佐藤友里恵・池嶋祥子・大坂菜美・橋本眞彩子
 ○秋季上越地区大会
 66kg級 関田 稜也 (県大会出場)

若林 理絵
 渡邊 美咲
 伊比 香純
 若井麻衣子
 近藤 美樹
 久住玲緒奈
 ○北信越選抜大会
 シングルス 予選リーグ 若林理絵
 4×100mR 5位 佐藤友里恵・池嶋祥子・大坂菜美・橋本眞彩子
 ○秋季上越地区大会
 66kg級 関田 稜也 (県大会出場)

若林 理絵
 渡邊 美咲
 伊比 香純
 若井麻衣子
 近藤 美樹
 久住玲緒奈
 ○北信越選抜大会
 シングルス 予選リーグ 若林理絵
 4×100mR 5位 佐藤友里恵・池嶋祥子・大坂菜美・橋本眞彩子
 ○秋季上越地区大会
 66kg級 関田 稜也 (県大会出場)

若林 理絵
 渡邊 美咲
 伊比 香純
 若井麻衣子
 近藤 美樹
 久住玲緒奈
 ○北信越選抜大会
 シングルス 予選リーグ 若林理絵
 4×100mR 5位 佐藤友里恵・池嶋祥子・大坂菜美・橋本眞彩子
 ○秋季上越地区大会
 66kg級 関田 稜也 (県大会出場)

かさき眼科
 笠木逸夫 (高23)
 柏崎市中央町三番三二号
 TEL (0257) 2212600

小形商工株式会社
 代表取締役社長 小形明彦 (高16)
 新潟市東区浜谷町二丁目三番六七号
 TEL (025) (274) 3256

東京柏会副会長 今井健子 (高13)
 辯護士
 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里二丁目二番一―804号
 ステーションビルディングタワー1
 TEL (03) 38911751
 FAX (03) 38911533

新潟産業大学学長 柏中・柏高同窓会副会長 広川俊男 (高20)

日本の心 木村茶道美術館
 創設者 (故) 木村重義 (中0同窓員)
 柏崎市緑町三十一 (松雲山荘内)
 TEL (0257) 318061

株式会社 矢島鐵工所
 代表取締役 矢島博生 (高40)
 柏崎市田塚三丁目三番二六号
 TEL (0257) 213275
 FAX (0257) 213277

株式会社 サラト
 全国同窓会名簿製作
 同窓会アドバイザー
 本社 〒660-0949 兵庫県姫路市北条宮の町一七二番地
 TEL (079) 8411384
 東京支社 〒100-0002 東京都千代田区外神田五二二一三
 JER神田ビル6F
 TEL (03) 38316181

同窓会本部 会長 土田新吾 (高16)
 連絡先 柏崎市学校町四―一
 〒945 柏崎高等学校同窓会事務局
 TEL (0257) 357839
 FAX (0257) 357838

東京柏会 会長 近藤健彦 (高12)
 連絡先 東京都豊島区南池袋二―二九―九
 〒171 損保ジャパン池袋ビル8F
 東京テレマーケティンググループ
 FAX (03) 5539173

関西柏会 会長 村田仙二 (高11)
 連絡先 京都市左京区岩倉大鷲町二―一五
 〒606 山崎学方気付
 TEL (075) 7124138
 FAX (075) 7124138

新潟柏会 会長 室賀美津雄 (高8)
 連絡先 新潟市五十嵐二の町八三二―一
 〒950 伊部悦雄 (高11)
 TEL (025) 263173